

令和6年度 難波中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様に説明責任を果たすことが重要であると考え、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、学校が各調査の結果や各調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、各調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにし、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 「全国学力・学習状況調査」の調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への学習指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 「中学生チャレンジテスト」の調査の目的

- (1) 大阪府教育委員会が、府内における生徒の学力を把握・分析することにより、大阪の生徒課題の改善に向けた教育施策及び教育の成果と課題を検証し、その改善を図る。
加えて、調査結果を活用し、大阪府公立高等学校入学者選抜における評定の公平性の担保に資する資料を作成し、市町村教育委員会及び学校に提供する。
- (2) 市町村教育委員会や学校が、府内全体の状況との関係において、生徒の課題改善に向けた教育施策及び教育の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、学力向上のためのPDCAサイクルを確立する。
- (3) 学校が、生徒の学力を把握し、生徒への教育指導の改善を図る。
- (4) 生徒一人ひとりが、自らの学習到達状況を正しく理解することにより、自らの学力に目標を持ち、また、その向上への意欲を高める。

1 全国学力・学習状況調査

| 学年 実施月日 | | 生徒数 (人) | 平均正答率(%) | | 平均無解答率(%) | |
|------------|-----|------------|----------|------|-----------|------|
| | | | 国語 | 数学 | 国語 | 数学 |
| 3 年 | 学校 | 63 | 60 | 47 | 1.7 | 9.9 |
| | 大阪市 | — | 56 | 51 | 4.1 | 12.5 |
| 4月18日 | 全国 | — | 58.1 | 52.5 | 3.9 | 11.3 |

2 中学生チャレンジテスト

| 学年 実施月日 | | 生徒数 (人) | 平均点(点) | | | | | 平均無解答率(%) | | | | |
|------------|-----|------------|--------|------|------|------|------|-----------|-----|------|-----|-----|
| | | | 国語 | 社会 | 数学 | 理科※ | 英語 | 国語 | 社会 | 数学 | 理科※ | 英語 |
| 3 年 | 学校 | 63 | 62.3 | 44.3 | 47.6 | 43.3 | 46.7 | 5.8 | 5.4 | 14.1 | 6.0 | 7.0 |
| | 大阪市 | — | 65.4 | 50.2 | 48.8 | 52.1 | 54.0 | 4.9 | 4.7 | 14.3 | 4.1 | 6.5 |
| | 大阪府 | — | 65.2 | 50.4 | 49.1 | 52.3 | 53.6 | 5.3 | 5.0 | 14.8 | 4.4 | 6.9 |

※ 3年生の理科はC問題を選択

令和6年度 難波中学校のあゆみ
—結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

調査結果から

【成果と課題】

○全国学力・学習状況調査結果

＜国語＞ 全国と比較して、すべての領域において全国平均を上回り、平均して1.9%上回った。平均無回答率は▲2.2%と好結果で

あったが、生徒質問紙からは言語活動が不足している状況。

＜数学＞ 全国と比較して、すべての領域において全国平均を下回り、平均して5.5%下回った。平均無回答率は▲1.4%。

いずれの科目においても、平均無回答率では全国平均よりも良い結果となったが、生徒質問紙から、朝食欠食率が高いことが見て取れる。

○中学生チャレンジテスト(3年生)結果

＜国語＞ 市平均と比較して、「書くこと」では3.6%、「読むこと」では▲3.5%であった。

＜社会＞ 市平均と比較して、「歴史的分野」では▲7.8%であった。

＜数学＞ 市平均と比較して、「図形」では1.8%、「関数」では▲5.0%であった。

＜理科＞ 市平均と比較して、記述式問題では▲0.6%でほぼ差はなかったが、知識・技能で▲10.1%であった。

＜英語＞ 市平均と比較して、「聞くこと」は市平均と同じであったが、「書くこと」では▲11.1%であった。

今年度の取組により「思考・判断・表現」では挽回がみられるが、「知識・技能」において、数学を除き下回っている。

【今後に向けて】

●全国平均を上回る結果ながら、言語活動が不足している状況。読書習慣を醸成するプログラムの推進、エッセイやディベート、スピーチコンテストの定期的な実施、話し合いやプレゼンテーションの機会を設け、表現力を高めるなど、言語活動の充実に努める。

●数学・理科・英語における知識・技能の向上として、朝学習の時間に基礎問題を短時間で解く習慣づけ、個別指導や学習支援サポーターを活用し、つまづきやすい箇所のフォロー、タブレットやオンライン教材を活用した、反復練習や弱点補強、自己診断型アプリを用いて生徒自身での苦手分野の把握。また、英語では、「書くこと」に焦点を当て、日記や簡単なライティング課題を定期的に出題。C-NETを活用したライティング指導を強化。

●思考・判断・表現力の育成において、一部挽回が見られるが、引き続き強化が必要。取り組みとして、地域課題や身近なテーマを扱ったプロジェクト型学習を行い、生徒の主体的な学びを促進。記述式問題のトレーニングとして、国語や社会科だけでなく、理科や数学でも記述式問題を積極的に取り入れる。また、解答例や採点基準を示し、効果的な表現の仕方を学ぶ。

●学力向上のための組織的支援として、全体的な課題の解決には、保護者や地域との連携が必要であり、地元企業や大学との連携を通じて、生徒が興味を持てる実践的な学習機会を提供。

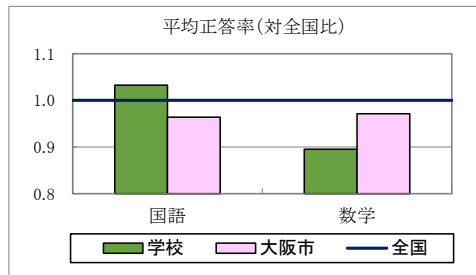
●朝食欠食率の改善策として、保護者向けの通信で、朝食の重要性を伝えたり、食育プログラムを通じて、簡単に準備できる朝食メニューを紹介。

令和6年度 難波中学校のあゆみ
—結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

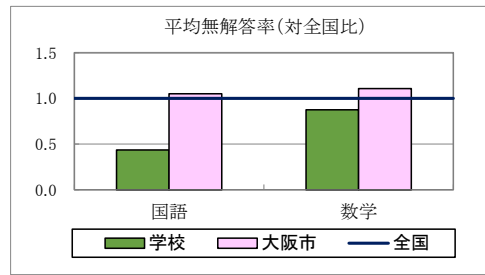
全国学力・学習状況調査 教科に関する調査より

【 全 体 】

| | 平均正答率(%) | |
|-----|----------|------|
| | 国語 | 数学 |
| 学校 | 60 | 47 |
| 大阪市 | 56 | 51 |
| 全国 | 58.1 | 52.5 |

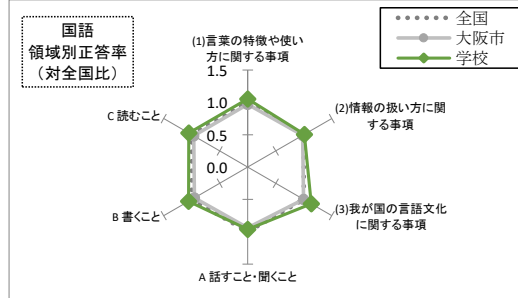
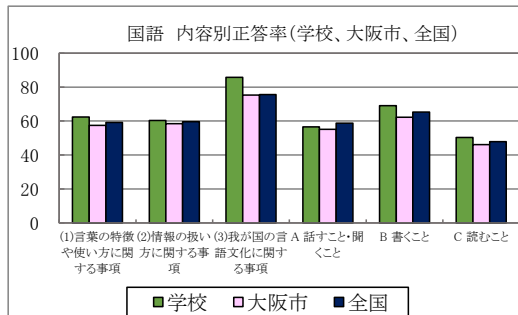


| | 平均無解答率(%) | |
|-----|-----------|------|
| | 国語 | 数学 |
| 学校 | 1.7 | 9.9 |
| 大阪市 | 4.1 | 12.5 |
| 全国 | 3.9 | 11.3 |



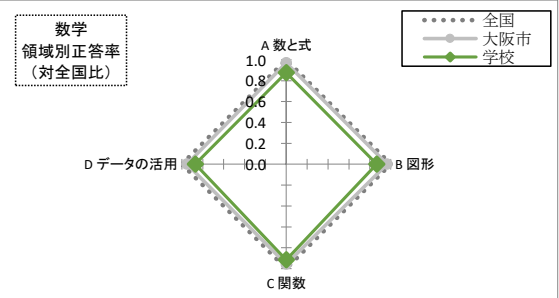
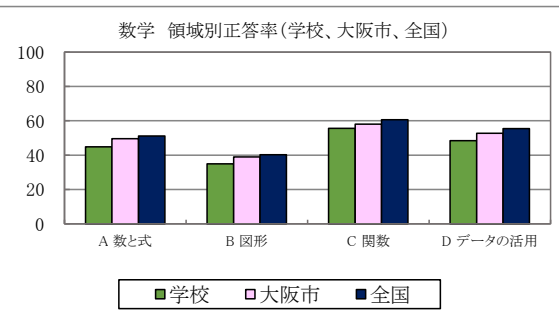
【 国 語 】

| 学習指導要領の内容 | 対象設問数(問) | 平均正答率(%) | | |
|------------------------|----------|----------|------|------|
| | | 学校 | 大阪市 | 全国 |
| (1)言葉の特徴や使い方に 関する事項 | 3 | 62.4 | 57.5 | 59.2 |
| (2)情報の扱い方に 関する事項 | 2 | 60.3 | 58.5 | 59.6 |
| (3)我が国の言語文化 に関する事項 | 1 | 85.7 | 75.3 | 75.6 |
| A 話すこと・聞くこと | 3 | 56.6 | 55.2 | 58.8 |
| B 書くこと | 2 | 69.0 | 62.2 | 65.3 |
| C 読むこと | 4 | 50.4 | 46.2 | 47.9 |



【 数 学 】

| 学習指導要領の領域 | 対象設問数(問) | 平均正答率(%) | | |
|-----------|----------|----------|------|------|
| | | 学校 | 大阪市 | 全国 |
| A 数と式 | 5 | 44.8 | 49.6 | 51.1 |
| B 図形 | 3 | 34.9 | 38.9 | 40.3 |
| C 関数 | 4 | 55.6 | 58.1 | 60.7 |
| D データの活用 | 4 | 48.4 | 52.8 | 55.5 |



令和6年度 難波中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

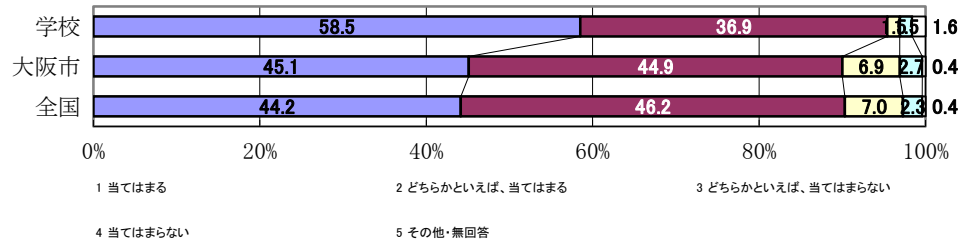
生徒質問より

1 2 3 4 5 6 7 8

質問番号
質問事項

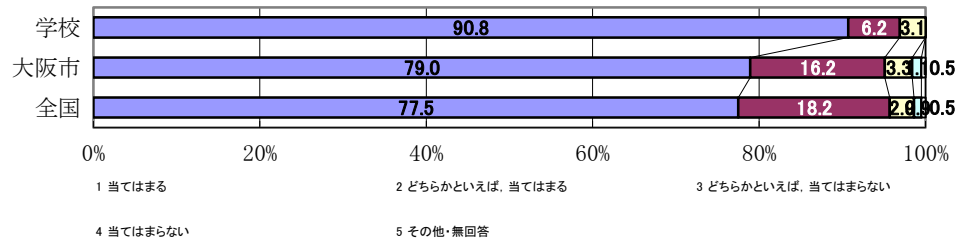
10

先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか



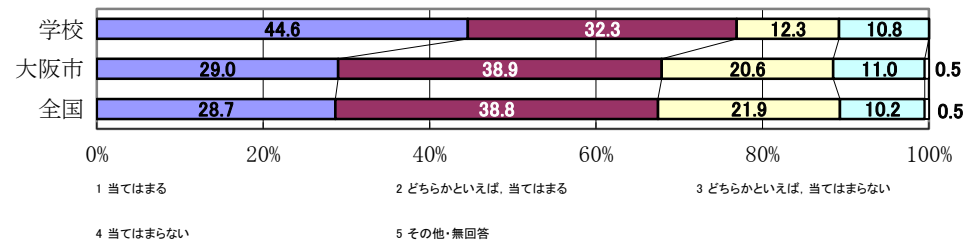
13

いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか



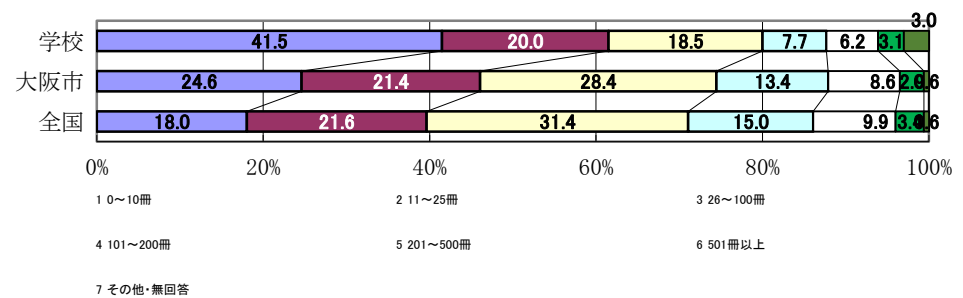
14

困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか



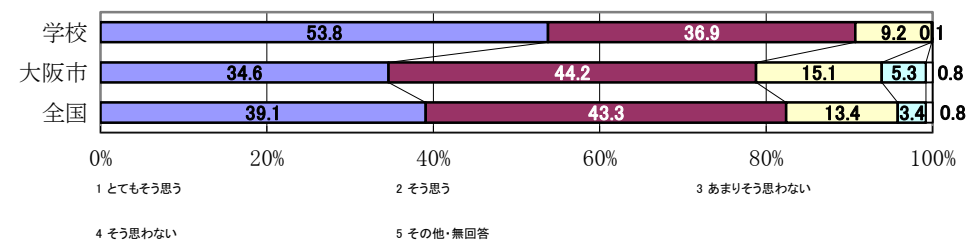
23

あなたの家には、およそどれくらいの本がありますか(一般の雑誌、新聞、教科書は除く)



72

(1、2年生のときの学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を活用することについて、次のことはあなたにどれくらい当てはまりますか。)楽しみながら学習を進めることができる



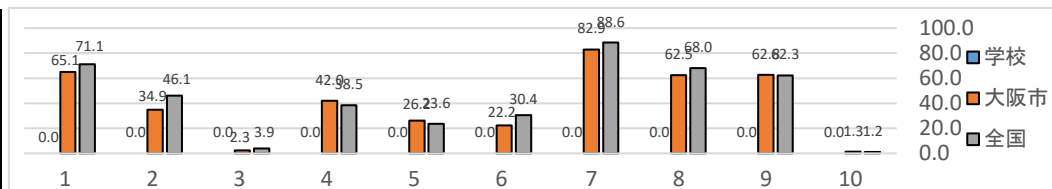
令和6年度 難波中学校のあゆみ
—結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

生徒質問より（26）

質問番号
質問事項

26

放課後や週末に何を
して過ごすことが多
いですか(複数選択)



1 学校の部活動に参加している

2 家で勉強や読書をしている

地域の活動に参加している(地域学
校協働本部や地域住民などによる
学習・体験プログラムを含む)

4 学習塾など学校や家以外の場所で
勉強している

5 習い事(スポーツに関する習い事を
除く)をしている

6 スポーツ(スポーツに関する習い事
を含む)をしている

7 家でテレビや動画を見たり、ゲーム
をしたり、SNSを利用したりしている

8 家族と過ごしている

9 友達と遊んでいる

10 1～9に当てはまるものがない

令和6年度 難波中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

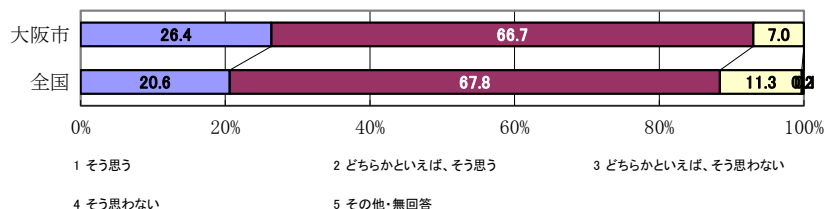
学校質問より

質問番号
質問事項

25

調査対象学年の生徒は、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていると思いますか

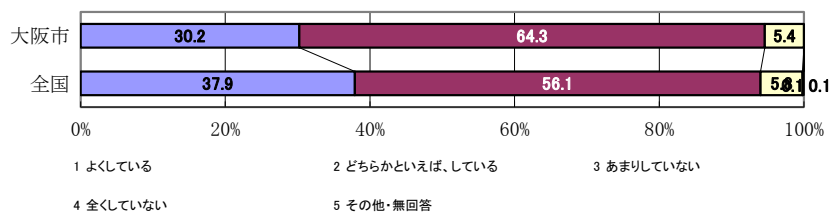
学校 「どちらかといえば、そう思う」を選択



37

調査対象学年の生徒に対して、学級生活をよりよくするために、学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法等を合意形成できるような指導を行っていますか

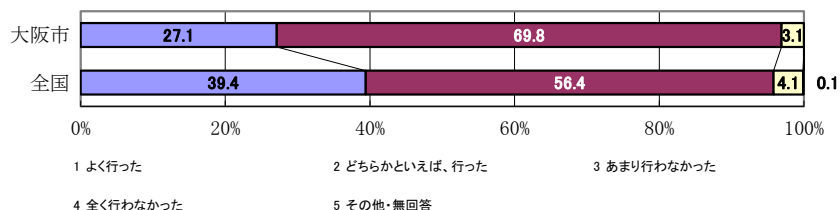
学校 「よくしている」を選択



43

調査対象学年の生徒に対する国語の授業において、前年度までに、自分の考えが伝わるように、表現の効果を考えて文章を書く指導を行いましたか

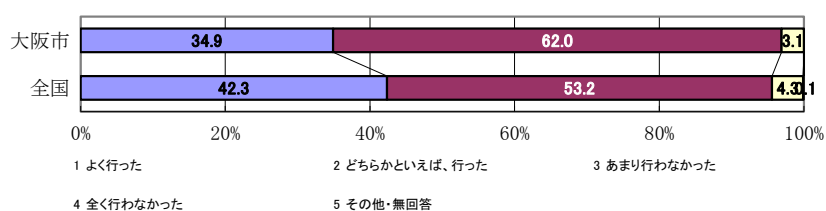
学校 「よく行った」を選択



48

調査対象学年の生徒に対する数学の授業において、前年度までに、生徒がどのようなことにつまずくかを想定した指導を行いましたか

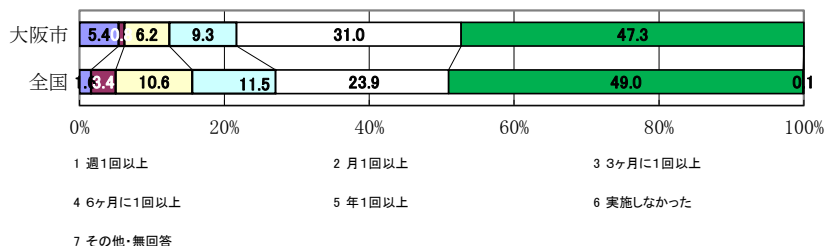
学校 「よく行った」を選択



66

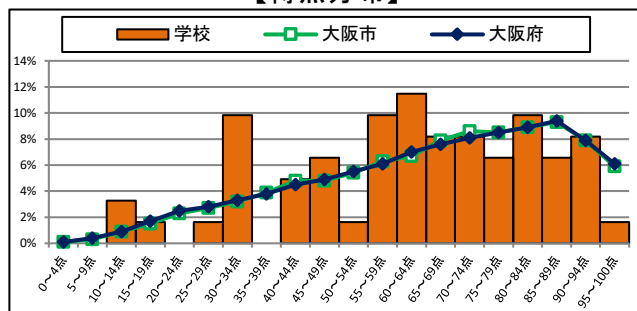
前年度に、生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を使って、生徒が学校外の施設(他の学校や社会教育施設、民間企業等)にいる人々とやりとりする取組をどの程度実施しましたか

学校 「3ヶ月に1回以上」を選択

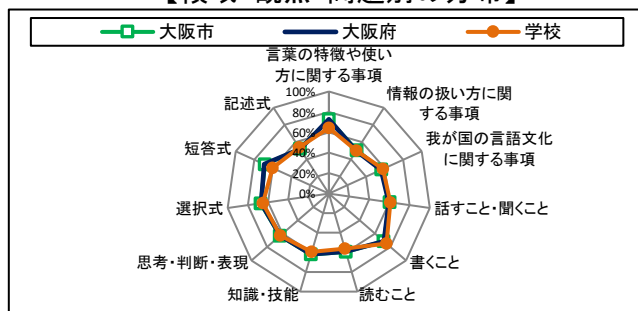


【国語】

【得点分布】

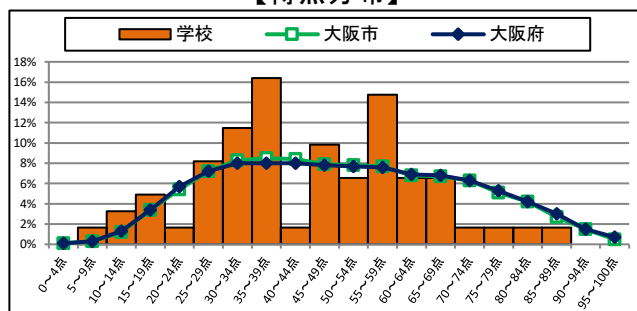


【領域・観点・問題別の分布】

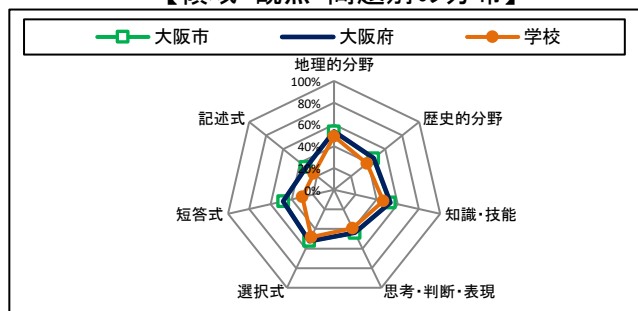


【社会】

【得点分布】

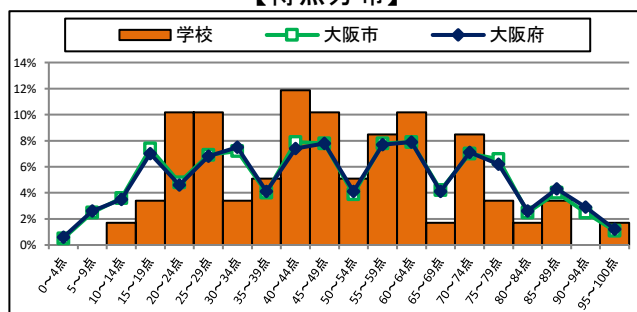


【領域・観点・問題別の分布】

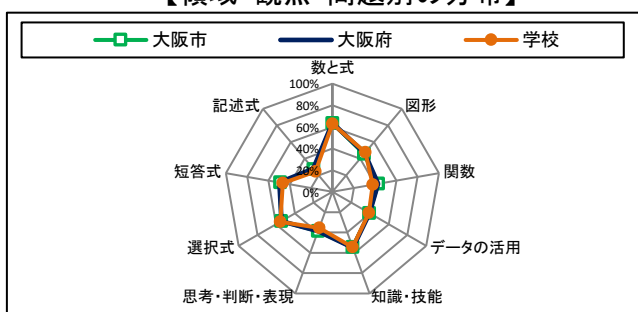


【数学】

【得点分布】

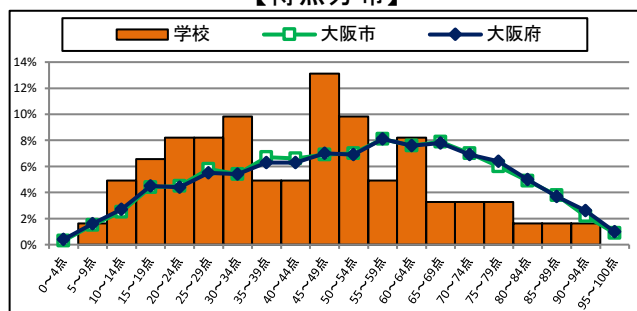


【領域・観点・問題別の分布】

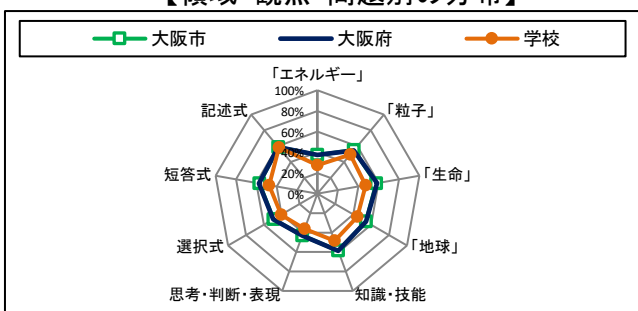


【理科C】

【得点分布】

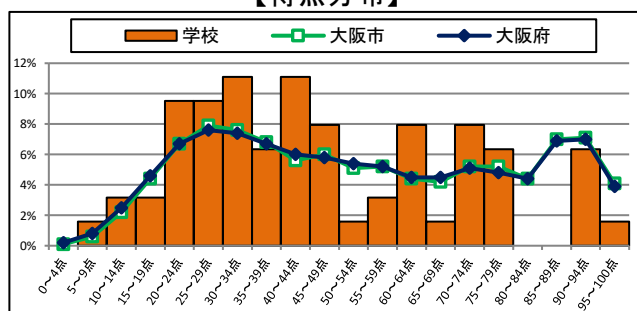


【領域・観点・問題別の分布】



【英語】

【得点分布】



【領域・観点・問題別の分布】

